

JR四国労働金庫
 新居 栄治理事
 JR四国労働組合
 大平昇 弁護士
 JR四国グループ労働連合
 柏木 拓海 委員長
 JR四国労働組合退職者連絡
 浅岡 秀幸 会長
 日本貨物鉄道産業 労働組合
 四国電力関連産業 労働組合
 日本私鉄労働組合
 四国地方連合会
 タダノ労働組合
 日本郵政グループ
 労働組合四国地方本
 株アイネクス
 四国新幹線の導入、そして
 会社の経営自立に向け
 た取り組みを強化する。
 「四国新幹線の早期実現」
 に向け、署名活動の展開

○要員を確保、定着化させる取り組みとして、ベテランの退職者、手当の改善等を取り組んできたところであり、会社としてもエンゲージメントの満足度調査を行ってきた。エンゲージメント向上に資するよう、会社も施策実施しているが、その内容は組合が求めている内容に基づき、くものであり、引き続き要員確保に向け取り組む。

○会社の将来性という観点から、まずは世代全般に影響のあるベアや、採用面であれば、初任給改善・エリア採用の導入も実施された。一方、55歳以降の賃金のあり方や、採用形態の多様化を踏まえると賃金制度の見直しも必要。

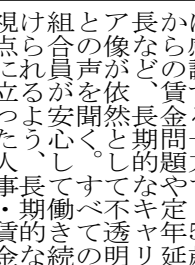
○55歳以上の賃金改善は高卒1期生が55歳になるまでに、見直すという考えで、方交渉を通じて示されているため、直近2年では必ず動きがあるものと考えている。また、今後は、60歳以降についても賃金水準が大きく変わるため、定年延長や第2基本給の廃止も含めた全体の制度改正を求め、ことも必要。

○中堅社員の離職防止には、人事賃金制度の改善といった視点も必要であるし、今回拡充された技能手当の改善等も資格を持つ中堅社員に有効と考える。全体の賃金引き上げとしてベテラスアップ等も含め働きがいを感じられるよう交渉に臨む。

○燃油高騰、列車の運行本数の変化も含めて、最終駅基準ではなく、実寄りがつた通勤手当の支給が行われる様、求める。○輸送指令には、職務手当の支給があるが、駅の情報、運表等には支給がない。業務内容等もふまえ、業務手当等も活用しながら改善できるよう交渉していく。

○四国開発建設において線路閉鎖、保守用車に付

◇藤田代議員
(徳島自動車分会)



▼今春闘での2年連続のベースアップ、コロナ禍前に戻る夏季賞与水準の獲得に御礼。一方で、物価高騰等により可処分所得は目減りしている。55歳以降の基本給も大幅に改善されたが、減額なしという状況にはまだ至っていない。引き続き中堅世代が働き続けたいような制度が必要。

▼通年で新規採用も行っているものの、バス産業全体で働き手が不足しており、高速バス路線では、運休が引き続き発生。賃金改善とあわせて、保護メガネの支給やスニーカー着用などの労働環境改善、熱中症対策の強化なども望める。会社に対してこれらの改善の原資として、適切な価格転嫁を行うよう訴えてほしい。

◆妹尾特別代議員
(徳島保線区分会)



▼ベテラン社員の減少と
若手社員の増加により、
技術継承や異常時の対応、
対する不安が現場で高
まっている。訓練だけで
とったソフト面だけの修
なく、列車見張補助装
の様なハード面での対策
を水平展開し、社員の安



◇上川特別代議員
(池田管理駅分会)



▼特急南風号はご利用の
お客様に對し、自由席数
が不足している。特に繁
忙期・休日等であれば、
自由席に座れないお客
様がデッキリに溢れるこ
とが



◇中川特別代議員
(高知運輸所分会)



想定される。車内の安全・秩序維持の観点からも編成両数ならびに自由席の拡大を求める。

▼車掌の業務負担軽減、旅客対応による列車遅延を防ぐため、車内補充券発行機で発売できる切符の種類を増やす、もしくは複雑な運賃計算に対応できる運賃計算アプリの導入を求める。

▼車いす利用客への対応について、駅係員の負担軽減とサービス向上のため、ソフト面では、窓口営業時間外や当日対応の一部業務を外部委託とともに、スロープやエレベーター、多目的トイレの設置・増設等ハード面の整備も行い、ユニバーサルデザインの推進を行うべきと考える。

◆中間特別代議員
(愛媛電気分会)



から始発駅から運転方式の統一を行うべき。

▼ワンマン運行の拡大に伴い、車内秩序の維持やカスハラ防止が課題。トランプ抑止、また状況把握が行えるよう、ワンマン列車への防犯カメラの標準装備を行うべき。

▼検修職場では40代社員が少なく、技術継承に苦慮。プロパー社員の賃金面が改善されず、離職が引き続き多いのも現状。過去にあった重大障害事故等の教訓が風化しないよう、安全継承館を活用した研修を通じ、安全意識の徹底を行うべき。

◇岡本特別代議員
(事業開発分会)



すべきと考える。同時に、夜間作業が避けられない場合も考慮し、最終列車の運休などによる間合いの確保策の検討も求める。

▼人財確保の観点から本社と同様にフレックスタイトムや在宅勤務を現場にも導入するとともに、転居を伴う異動の際、自宅近隣の会社施設を活用し、サテライト勤務等も検討できるのではないかと。

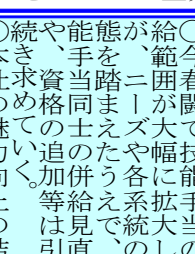
▼熱中症リスクが高まる過酷な作業環境に対し、現在の賃金・手当の水準は見合っていない。同業他社や民間企業に劣らないうような、新たな手当の創設などによる賃金拡充を強く要求する。

声に向

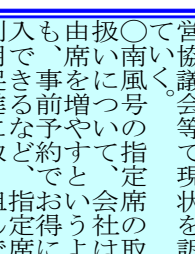


組合員の

図れるよう引き続き

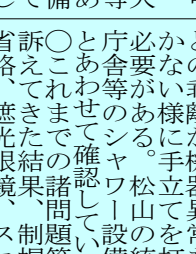
[illegible]

動放送装置が導入され、このところだが、引き続き



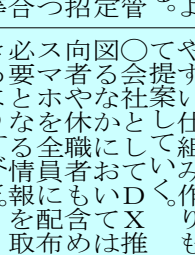
て、
賞給
協議
会等
で現
状を
調
て、
南風
号の
指定
席の
取
扱に
つい
て、
会
社
は
上
由
席
を
増
や
す
と
い
う
上
も、
事
前
予
約
で
お
得
に
入
で
き
る
な
ど、
指
定
席
利
用
の
促
進
に
取
り
組
ん
で、
一
方
で、
人
駅
も
増
え、
ア
シ
ス
ト
ル
ス
も
な
い
駅
か
ら
乗
車
の
お
客
様
に
対
し、
指
定
を
車
内
で
取
り
扱
う
こ
と
を
で
き
な
い
た
め、
そ
の
改
を
経
協
で
要
望
し
て
い
る
が、
た
だ、
多
額
の
経
費
が
必
ず

と、物理的信号の機室の設計に、距離は、幾器異常



をが求支実技しき果務主魅金勤目
 着座ニーズ・改札の歩
 等のメリツトも踏ま
 入に向けて、前向き
 討すべきと引き続き
 ていく。列車の増結
 り予備車が生み出さ
 中で柔軟な増結対応
 てくというところ。
 ○車内発行機は一昨
 経費削減の観点から
 区間に制限が設けら
 会社としては、お客
 求められる切符の9割
 発行できているとい
 とだが、1割対応でき
 いのであれば、せめ
 山での乗り継ぎ時に
 切符購入の必要があ
 ど、案内を徹底すべ
 訴えている。
 ○熱中症対策について
 空調服を含め多様な
 がある」と認識してお

準備も必要と考え、ため、直近では情報

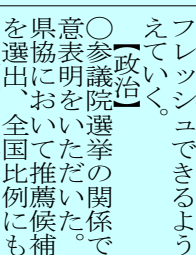


略導検査によつたつたに売にこはな岡なと
 区での日中の集中工
 結果を踏まえ、会社
 は岡山行きの特急が
 区間は困難であるもの
 それ以外の線区では
 きに検討する姿勢で
 あわせて、夜間業務
 く終わつた際に早く
 取り扱ひや、フレツ
 のような取り扱ひが
 ないか、勉強中との
 でもある、早期統
 善であるよう引き続
 り組む。

○工務系統の詰め所
 いては、整備できる
 ありは整備していくべ
 組合員、場所等につい
 組員の声を聞いて
 すべき。

○AIの活用について

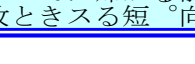
見や聞き、導き続けたと聞いているが、引き続き研修生が



○参議院選挙の関係で、意表明をいただいた。県協において推薦候補者を選出、全国比例にも推薦候補者を決定している。まずは組合員全員が投にいくことを大前提にお勝に向けての取り組みをお願いする。

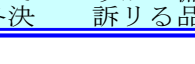
(次ページへ続く)

のめ
る



か、もしもは療待し、進を呂をれるでは、設てきとにつさ
る踏、所で、出をめ得るに、置はでこつ取

意な旅



組に投るも補てうかい備
み、票。推者各決訴りる品

組合員の声に向き合う執行部

執行部答弁(続き)

◆中野副執行委員長



【安全】
○死亡労災が発生したことを極めて重く受け止めて、発生翌日に緊急点検を行う。迅速な対応が求められる中、現行のマニュアルを含め、屋内・屋外作業における安全基準の明確化を求めている。また、グループ全体として、気温に基づいたリスク評価や、柔軟な作業中止の判断を可能とする仕組みづくりを進めている。

【組織】
○国鉄とJR採用世代の間に空白期間があり、技術継承の問題は20年前から指摘されている。近年では、新入社員の離職が重なり、経験値が蓄積しにくい。会社もデジタル技術などを活用して、若い組んでいくが、不十分。過去の事故には、ちよつとした声かけで防げたケースもあり、コミュニケーションの活性化が一助となる。組合員も、積極的にレクリエーション等を通して話しやすい

【環境】
○これまで女性専用の通路があったが、男性も子供を連れて、また介護も必要となると、男女問わず乗務員の拘束時間が長くなる。乗務員の運用の分割など、さらなる勤務時間の短縮を目指す。

【労働】
○ATSの取り扱いによって、本来は事故に当たらない事象がA事象として扱われるケースが発生。以前にも同様の事象が生じたが、その経緯も含めて共有されたと捉えており、組合員全体での理解と周知を徹底すること。また、経営協議会でB事象の扱いについて回答がなかったことは、ニュースにも掲載されているが、「非懲戒」となる旨を共有している。

【安全】
○安全継続の研修が二巡目に入っている。社員が安全を再認識するきっかけとなるよう、取り組みを強化している。あわせて、JR四国グループ全体や、非鉄道事業にも安全への取り組みを広げられるよう、取り組みを推進している。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。



中村新委員長の団結ガンバローで第44回定期大会が締めくくられた

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。



【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

大会宣言

JR四国労組は本日、JRホテルクレメント高松において「団結 創造 実践 次代へ力強く踏み出すべく コミュニケーション活動を通じた労働運動を活性化させ 組合員・家族の明るい未来実現に向け邁進しよう！」をスローガンに掲げ、第44回定期大会を開催し、この間の運動の成果を確認するとともに、真摯で活発な議論を通じ、2025年度の運動方針を満場一致で決定した。

JR四国・ジェイアール四国バスを取り巻く環境として、駅ビル等の開業効果やインバウンド等の需要拡大とともに人流が回復基調にある一方、従前からの少子高齢化・人口減少等に加え、急激な物価高騰や激甚化・多頻度化する自然災害等といった課題を抱えている。また、持続的な事業運営に不可欠な「人財基盤」は、労働力人口減少、労働市場の流動化等を背景に危機的な状況にあることに変わらない。

JR四国労組はこの間「安全」と「雇用」を第一義に労使協議に臨み、各種施策に対して働く者の視点から実効性ある提案等を行うとともに、「人財確保・定着」に資する労働条件・環境の改善を果たしながら、様々な困難にも打ち勝ってきた。労使が一体となって目標達成に取り組む「中期経営計画2025」の集大成となる一年をいよいよ迎えた中で、JR四国・ジェイアール四国バスの責任組合として、次の3点を基調として実践する。

- 1 JR産業の根幹ともいえる「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。
- 2 JR四国グループの成長・発展には、「JR連合ビジョン」に掲げる健全な労働組合による建設的な労使関係の構築が必須であり、その実現に向けて不可欠となる「組合員一人ひとりに寄り添ったコミュニケーション活動の充実」と「すべての仲間が参加しやすい組織づくり」を進める。あわせて、女性役員を中心とした活動を加速化させ、各級機関との連携を通じ、取り組みの深度化を図る。
- 3 働く者の視点から、「生き生きと働ける職場づくり」を実現できるよう、ベースアップをはじめ賃金改善の視点を着実に積み上げていくとともに、誰もが安心して働くことのできる環境づくりに向け「ユニオンビジョン2023」に掲げる各種方策の実現を目指す。あわせて自立経営に向け、労使のみで解決できない政策課題を解決していくべく、政治活動にも注力し、「第27回参議院議員選挙」での推薦候補者の必勝に全力で取り組む。

本年1月、JR四国が発足してから37年が経過し、国鉄の存続期間を超えるなど、新たな節目を迎えた。私たちが期待される社会的使命に応えるべく、これまでに積み重ねてきた「安全・安定・安心輸送」を引き続き堅持しつつ、今後様々な試練が待ち受ける中においても、JR四国グループに働く者としての強い信念と柔軟な発想を胸に、着実に歩みを続けなければならない。

私たちは責任組合として組合員同士の強固な「団結」のもと、「創造力」をもって、これらの課題解決に取り組む。将来に責任あるJR四国労組運動を「実践」すべく、全組合員が協力一致して展開していくことをここに表明する。

以上、本大会の総意として宣言する。

2025年7月11日
四国旅客鉄道労働組合
第44回定期大会

【事業】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

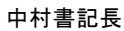
【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

【政策】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。



【労働】
○「安全・安定・安心輸送の確立」を最重要課題に、目下最大の課題である「要員不足」が安全に支障を来すことがないよう、効率化施策をはじめとしてチェック・提言機能を発揮し、職場の声を基にした真摯な労使協力を継続する。さらには、グループ会社・協力会社を含めた「心理的安全性」の確保を通じた安全最優先の職場風土づくりへの取り組みを展開する。

対話を重視し「全員参加」の
組合活動を展開しよう！



安全・安定・安心輸送
の確立について

によるJ、R、四国では熱中症
 し、お亡くなりになり、故が
 を組む。は、い。は、改め、の意
 を最優先の意識を共有する
 し、ハート・ソングを共に
 面から。対策。強化。は、求
 られる。近。年。は、化。は、求
 大橋。で。事。故。も。含。め。戸
 R。業。界。全。体。で。重。大。事。象
 が。相。次。ぎ。信。用。を。大。き。く
 失。墜。さ。せ。た。一。J、R、と
 い。土。台。の。上。に。成。り。立。つ。て
 いる。と。こ。れ。ま。で。も。申
 し。上。げ。て。き。た。が、重。大
 な。事。故。と。し。て。象。は、繰。り。返
 を。生。じ。て。お。り。は、安。全
 を。守。る。こ。と。は、容。易。に。安。全
 な。い。改。め。て。一。安。全。の。は
 A、B、C、や、事。徹。底
 を。胸。に。刻。み。基。本。動。作。と
 ル。の。徹。底。を。も。つ。て
 安全。を。築。き。あ。げ。て。い。き
 たい。
 加。え。て、慢。性。的。な。要
 員。不。足。が。安。全。確。保。に。支
 障。を。与。え。た。し。て。お。り。余
 裕。ある。要。員。体。制。の。整。備
 は。急。務。を。工。務。系。職。場。で
 育。児。等。を。行。う。組。合。員。が
 日。勤。職。に。就。く。な。ど、柔
 軟。な。働。き。方。を。実。施。で。き

春に実賃界ら目上くル
闘組現金とず標げべ四
でむにの、賃てー国
は必向・競物金にス
は要け働争価にき
技が引環に上はた
能あき境負昇及が
手ある改けやん
当。続改けやん
含。善ない業
今取の業お達
なで働同を捕に

い男女の平等の推進に
出や一女性役員ネットの選
ワーク委員会」の設置
が進むなか、今日のよ
うな大会での発言のあ
り方を含め、女性役員
の中で決定して行くこ
うなように取り組みも
重要になってくる。実
施にあたっては、支部・
分会の支援のもと、組
織の基盤整備が不可欠
となる。

るてのル立動要え動い開紙るが会やらがし
。お見等員る作た・等一・専は、て今
。直の仕不事の徹労有具層支門組新
。検が活用、事、部底働や体的要部青織大
。討が用、デ、私中、が組意しにはとも年強制は
。を必や、シ、生、重合思は、な女、性、確、人
。進要活、タ、生、組、要の統情、は、携、性、観、事
。め動、動、活、活、要の統情、は、携、性、観、事
。考内ツ、合、も、基一報機、強、性、観、事
。いえ容、両、も、考本と展、開、化、分、議、点、会、立、大、会、と

組織の強化・拡大の
取り組みについて

ているケースも認識し
ているが、いずれに
ても労働環境改善によ
る人財確保を通じ、安
全確立にも取り組んで
いく。

馬
 最後、参議院選挙に際し、投票と推薦の必勝に向けており、四補の呼びかけて、労働組合があるから、その活動と捉え協力できる活動と捉え協力をお願いする。

より、良い労働条件の整備を目指す。

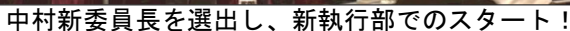
一方、人事・賃金制度、特に55歳以降の賃金見直しは喫緊の課題であり、働きの価値に見合った生涯賃金体系や年代別賃金カブの整備が求められる以上、原資が限られる以上、どのようにして生涯賃金の面積を大きくするか。どの年代に多く積むか。の双方の視点を持つ協議しなければならぬ。しかし、直近の動向を踏まえると、採用形態が多様化への対応も必要。

立場から出された声と
丁寧に向き合いながら
引き続き訴えていくこ
とが重要と考える。

ユニオナビジョンで
は離職要因を逆手に取
り、改善要求と一あり
たい姿」を示している。
今般エリア採用制度が
示されたが、まさに転
勤忌避の意見を踏まえ
たものと受け止めて
会に受け入れられにく
くなる中、それを凌駕
する労働条件を示さな
ければ人財獲得競争を
勝ち抜くことができな
い。

「四国のリーティ
ングカンパニー」とし

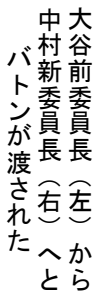
職責を担ふ
 勤責を感に各
 など比々かは種
 ど苦較資様J手
 労かす格職R当
 すしる取種な四
 それるこ得に職国
 ぞ作がのよ種改
 の業は額難の善
 の難でし負あれ



牽引してきた大谷委員長が退任

中村委員長、中野書記長の新体制へ

執行委員長	中村 鉄平	(高松駅)	新
副執行委員長	和田 庄平	(四国国家連携部)	新
書記長	中野 圭司	(多度津運転区)	新
執行委員	杉本 慶太	(高松駅)	再
〃	曾川 賢二	(高松運転所)	新
〃	山本 鉄平	(松山運転所)	再
〃	笹岡 慎平	(徳島駅)	再
〃	山本 真二	(高知運転所)	新
〃	寶田 晃	(運輸部運輸課)	再
〃	岩本 敏幸		再
〃	(ｼﾞｪｱｰﾙ四国ﾊﾞｽ高松支店)		
〃	山本 剛	(多度津運転区)	新
〃	今井 勇樹	(松山電気区)	再
〃	尾上 連太郎	(徳島保線区)	再
〃	宮地 信光	(高知運転所)	新
〃	西浦 慧		再
〃	(営業部誘客戦略室)		
〃	仲田 幸平		再
〃	(ｼﾞｪｱｰﾙ四国ﾊﾞｽ松山支店)		
特別執行委員	吉田 朱里	(高松運転所)	新
	石川 敏也		再
〃	(ＪＲ連合派遣・高知駅)		
〃	藤原 祐久	(多度津運転区)	再
〃	香西 若菜	(運輸部運輸課)	再
会計監査	三好 幸治	(宇和島運転区)	再
〃	岡本 茂	(高知運転所)	再
〃	河野 勉	(松山電気区)	再



委員長 大谷 清（愛媛支部）
副委員長 武智 義治（愛媛支部）
執行委員 河野 憲司（高知支部）
執行委員 土井 俊哉（香川支部）
執行委員 今村 健一（高知支部）
執行委員 玉井江吏香（愛媛支部）



第44回となる本大会は2年に1回の役員改選の大会であった。役員改選の結果、3期6年の間執行委員長として、四国労組を牽引してきた大谷清執行委員長（本部執行部として、通算16年）、2期4年副執行委員長を勤めた武智義治副執行委員長（本部執行部として

援支部・1期2年）の各位についても、本大会をもって退任することとなった。

また、改選結果として中村鉄平氏が執行委員長、和田庄平氏が副執行委員長、中野圭司氏が書記長とした新たな三役体制による執行部が発足した。

は、17年余）がそれぞれ退任することとなった

あわせて、本部執行委員として、尽力いただいた河野憲司執行委員（高知支部・5期10年）土井俊哉執行委員（香川支部・1期2年）今村健一執行委員（高知支部・1期2

また、大会後に開催された第1回本部執行委員会において、中村委員長、和田副委員長、中野書記長、杉本執行委員及び石川特別執行委員（JR連合派遣）がそれぞれ専任指定を受けることとなった。

第1回自動車業務委員会開催！



役員改選では、これまで青年女性会議を牽引してきた藤岡議長、近藤（直）副議長をはじめ、5名が勇退。今回選任された角南議長のもと、総勢18名で新体制をスタートさせた。その後、山本新副議長より委員会宣言案が提起され、承認の後、青年女性会議らしく「明るく・楽しく・元氣よく」活動し、さらなる飛躍を目指す想いを込め、角南新議長への「団結ガンバロー」で締めくくった。

《本社支部》 8月20日(水) 18:30～
サンポートホール高松

《愛媛支部》 8月29日(金) 14:00～
ろうきん松山ビル

《香川支部》 8月30日(土) 13:30～
ホテルアネシス瀬戸大橋

《徳島支部》 9月 2日(火) 13:30～
あわぎんホール

《自動車支部》 9月 4日(木) 14:00～
サンポートホール高松

《高知支部》 9月 5日(金) 13:30～
高知城ホール

招いて、要員不足を解消するためにも、長く働くことのできる賃金のあり方等に加え、日々の『安全・安心輸送』の確立には保護メガネや熱中症への対策等労働環境改善も不可欠との思いを確認した。

また、運輸局要請行動等で見習い期間中の高速道路料金に對する負担軽減を強く求めた点、サービスクリア等での休憩に際し、駐車場の不足を行政で解決するよう要請した旨を確認した。

その後、議事において、勤務制度・賃金制度等の改善を求むる「総合労働協約改訂等」交渉にむける。

た要求内容を議論し、9月4日に予定している自動車支部第42回定期大会の運営や、次年度以降の支部・分会の活動計画について意見交換し、組織運営のあり方について、各分会の認識を共有し合った。着「人財の確保・定着課題となるなか、安全安心輸送の実現には組合員の力が欠かせず、組合員が生き生きと勤められるよう職場の活性化と勤労意欲の高揚を図るべく、総合労働協約改訂による労働条件改善を実現していく。

「連合2025平和活動in広島」が広島市内で開催され、JR四国労組からは、中部青年女性会議の長谷常任委員、中平常任委員の2名がJR連合およびJR西労組、貨物鉄産労の仲間とともに参加した。参加者は、5日に広島平和記念公園にてピースウォークに参加した後、上野学園ホールにて平和ヒロシマ集会に出席。また翌日は広島平和記念公園にて、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に出席した。参加者は平和行動への参画を通じて、核兵器廃絶に向けて思いや平和の尊さを分かち合うことができた。連合は沖繩、長崎、根室でもそれぞれ平和行動を実施しており、JR連合や加盟各単組もこれに参加している。

7月20日に投票票が行われた第27回参議院議員通常選挙において、支援ご尽力いただいた組合員や家族の皆さまに御礼申し上げるとともに、推薦候補者の必勝に向けて献身的に奮闘されたすべての関係者に対して心から感謝を申し上げます。

候ルに補った者で、労働組合の役員に選出された。このように、労働組合の役員は、労働組合の発展のために、積極的に活動している。労働組合の発展は、労働者の生活向上に大きく貢献している。労働組合の発展は、労働者の生活向上に大きく貢献している。労働組合の発展は、労働者の生活向上に大きく貢献している。



【愛媛県協推薦候補者】
◎ 永江 孝子 当選
(無所属) ※重点候補

【比例区推薦候補者】
森屋 隆 惜敗
(立憲民主党) ※重点候補